

スター・ウォーズエピソード 4／新たなる希望 (Star Wars)

観賞日 2024年9月23日 上映時間 121分

【概要】

制作 1977年 アメリカ

監督・脚本 ジョージ・ルーカス

音楽 ジョン・ウィリアムズ

撮影 ギルバート・テイラー

出演 マーク・ハミル (ルーク・スカイウォーカー)、ハリソン・フォード (ハン・ソロ)

キャリー・フィッシャー (レイア・オーガナ)、デヴィッド・ブラウズ (ダース・ベイダー)

アレック・ギネス (オビ=ワン・”ベン”・ケノービ)

ピーター・カッシング (ターキン総督)



【あらすじ】

遠い昔、遙か彼方の銀河。当時は邪悪な帝国軍が支配し、反乱軍（同盟軍）は劣勢だった。反乱軍は秘密基地から奇襲を仕掛け、帝国軍の巨大要塞の設計図を盗み出した。レイア王女はその設計図を持ち帰り、敵の弱点を分析し再び銀河に自由を取り戻そうとした。

レイア王女は設計図をロボットのR2と3POに託す。二体のロボットはルーク・スカイウォーカーという若い農夫に仕えることに。やがて、ルークはオビ=ワン・ケノービと出会う。そして、彼から現在の帝国の歴史と自分の父親がジェダイの優秀な騎士であったことを聴く。「ロボットをオルデランに無事送り届けてもらいたい」というレイア王女からのメッセージ。オビ=ワンはルークにその役割を期待するがルークは渋る。しかし、帝国軍に親代わりの叔父・叔母を殺され自分もジェダイの騎士になる決意をする。ルーク、オビ=ワン、ロボット二体に宇宙船船長のハン・ソロとその仲間のチューバッカを加えた一行はハン・ソロの宇宙船でオルデランに向かう。途中、レイア王女を救出してオルデランに到着。そして今度は反乱軍が攻勢に出る。果たして反乱軍は帝国軍のデス・スターを破壊できるのか。

映画史に燦然と輝くスター・ウォーズシリーズの記念すべき第1作。

【解説】

■ポイント

●「スター・ウォーズ」シリーズ

旧三部作：エピソード4（1977年）、エピソード5（1980年）、エピソード6（1983年）

新三部作：エピソード1（1999年）、エピソード2（2002年）、エピソード3（2005年）

続三部作：エピソード7（2015年）、エピソード8（2017年）、エピソード9（2019年）

●受賞（1978年第50回アカデミー賞）

10部門にノミネートされ下記7部門で受賞

編集賞、美術賞、衣装デザイン賞、作曲賞、録音賞、視覚効果賞、特別業績賞

■見どころ

●シリーズ全体に登場する主要人物が本作で紹介される

●迫力十分の戦闘シーン

●シリーズ全体に使用されるジョン・ウィリアムズの名曲の数々